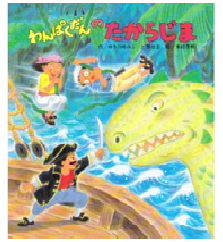



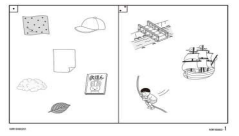
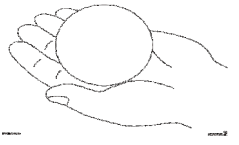
4歳児クラス8月 第2回 「わんぱくだんのたからじま」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「エイエイオー！」の掛け声を一緒に言ったり、「それ！行くぞー」と気合を入れたりしながら、子どもたちも冒険しているような雰囲気を作りながら進める。 最後まで集中できるように、「次はどこへ行くんだろう？」など、問いかけをしながらゆっくりわかりやすく読む。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット)ビー玉 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 先生のポケットにビー玉を忍ばせておく。「ここに先生の宝物があるの」ポケットを外側から触らせるなどして、期待感を持たせる。出してから見せ、両端の席の子どもから順番にビー玉を実際に触らせる。 「これを持っていると、冒険ができるんだって皆も一緒に行こう」等でお話繋げる。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に発言する 子供のフォロー 

がくしゅうタイム

活動①		記憶	お話を思い出して問題に答えることができる	
設問	お話を思い出して質問に答えましょう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「先生！みんな！わんぱくだんからお届けものだよ」ハテナ袋提示 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「なんだろうね？」袋の中を覗き込み、わくわくするように提示する。 「わんぱくだんクイズだって！」「どんなクイズかな」プリントを配布する。 プリントの名称確認し、始める。 【問題】 <ul style="list-style-type: none"> ①わんぱくだんの3人はそれぞれ何をつけて海賊になりましたか (答え：ハンカチ・紙・葉っぱ) ②猛獣のいる崖から何を使って逃げましたか (答え：ターザン) <ul style="list-style-type: none"> 絵本やシアターで答えを確認し、花丸・ハンコで賞賛する 			P1 赤鉛筆・ハンコ ★クレヨン
				<ul style="list-style-type: none"> ハテナ袋提示 プリント配布 子どものフォロー 賞賛
活動②		表現	自分なりの魔法のビー玉に色を塗り表現することができる	
設問	いろいろな色を混ぜて魔法のビー玉を描きましょう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「大変！魔法のビー玉の色が消えちゃった…」 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> プリントを1枚めくる 講：「あれ？魔法のビー玉が消えてる！」「どうしよう」等、子ども達に問いかけ自分達で色を塗ることを決める。 色を沢山使ったり、混ぜたりしながら、世界で1つだけの魔法のビー玉にする。しっかり紙を押さえて、ゴシゴシと同じ方向ではみ出さないように塗る。 出来上がったら、花丸や発表をしたり壁に貼るなどして賞賛するのも良い。 			P2 ★クレヨン
				<ul style="list-style-type: none"> 子どものフォロー 賞賛

活動③		ねらい	巧緻性	ハサミで線の上を切る事が出来る
設問	宝箱の鍵をハサミで切って作りましょう。			
つまみ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「そうだ！先生宝の箱をもらっていたんだ、みんなに見せてあげるね。」 			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 事前に箱の中等にビー玉を入れておく。 講：「あれ？へんだぞ開かない」「なにになに、鍵がないと開かないんだって」 保：「先生！ここに鍵があるよ」ハサミのドライブ提示 「これをハサミで切ると鍵になるんだよ」等でハサミのドライブ（鍵）を見せて切り方の見本を見せる。 切った鍵を箱の上に乗せて、「開けごま」等言って開けようとするけど開かない。 「もっとパワーが必要なんだ！」と、子ども達にやりたい意欲を出すようにする 「鍵切りたい人！！」等で手を挙げさせたりして、鍵とハサミを配り始める。 出来上がったら、みんなの鍵を重ねて、箱の上に置いてパワーを送ったり、呪文を唱えたりして箱を開ける等、工夫して楽しむ。 宝箱が開いたら厳かにビー玉を出し、もう一度ビー玉を順番に触る。 			
	教材		ハサミのドライブ ハサミ 宝箱 （園にある物で工夫） ビー玉	
保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> • 会話をする • ハサミのドライブ提示 • 子どものフォロー • 賞賛 		

数子ヤレ		ねらい	数	5個の操作が出来る
設問	おはじきを使い5個の操作をしましょう。			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • 今月は5個の操作です。お皿に4個入れておき、あと何個入れたら5個になるか、別のお皿（数個入っている）そこから1個取り4個のお皿に入れて5個になったか数える。 			
	教材		おはじき 皿	
保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> • 皿の提示 • 子どものフォロー • 賞賛 		

